

バイデン大統領、Kathi Vidal 氏を USPTO 長官に指名

2021 年 10 月 26 日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

10 月 26 日、ホワイトハウスは、商務省知財担当次官兼 USPTO 長官として、Kathi Vidal 氏を指名すると発表¹した。USPTO の長官職は、2021 年 1 月に Andrei Iancu 氏が辞任してから空席となっており、現在は Drew Hirshfeld 氏が長官代行を務めている。

Vidal 氏は法律事務所 Winston & Strawn LLP のシリコンバレー事務所に所属する知財弁護士であり、半導体、ソフトウェア、医療機器といった幅広い分野において特許訴訟の経験が豊富である。地方裁判所、国際貿易委員会（ITC）、PTAB において原告、被告を弁護するほか、大企業やスタートアップに対して営業秘密や商標を含む知財分野のアドバイスを行っている。また、女性及び多様性の問題や若手弁護士の育成に積極的に取り組んでいることが知られている。

米国で長年議論されている特許適格性（101 条）の問題に関しても、Vidal 氏は豊富な経験を持っている。2018 年には、SAP America 対 InvestPic 事件において SAP 側を代理し、インターネットを介した財務データの統計分析システムに関する InvestPic の特許は特許適格性を有しないと主張して連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）で勝訴した。また、2019 年には、Chamberlain Group 対 Techtronic Industries 事件において Chamberlain 側を代理し、ガレージなどの可動障壁の無線コントローラに関する Chamberlain の特許は特許適格性を有すると主張したが CAFC で敗訴した。このような経験から Vidal 氏は、特許適格性の問題に関して特許権者と実施者のバランスを考慮して対処できる者ではないかと期待されている。

Vidal 氏はニューヨーク州立大学で電気工学の学士号、シラキュース大学で電気工学の修士号を取得した後、ペンシルベニア大学 Carey Law School を卒業した。また、General Electric 社等においてソフトウェアや人工知能分野のエンジニアや、CAFC において Schall 判事の調査官を務めた。現在の事務所の前には、法律事務所 Fish & Richardson PC に 20 年間所属していた。

USPTO 長官として正式に就任する前に、上院での公聴会及び承認手続きを経ることとなるが、スケジュールはまだ公表されていない。

(以上)

¹ President Biden Announces Key Nominations (Oct 26, 2021)